

国際ロータリー第2600地区

上田六文銭ロータリークラブ

2019-20年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー氏
第2600地区ガバナー 古川 静男

- 会長 宮澤 広一 ●幹事 北村 久文
- 会報委員長 西澤 文登 ●副委員長 松澤 一志
- 委員 宮原 宏一 合原 亮一



ロータリーは
世界をつなぐ
Rotary Connects The World

【事務局】

〒386-0025 長野県上田市天神4-24-1
上田東急REIホテル 3F
TEL.0268-25-6000 FAX.0268-25-6002
<http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>

【例会日】毎週火曜日12:30~13:30

【例会場】上田東急REIホテル 2F

【創 立】1997年2月18日



会員卓話

『ロータリーの友』活用しましょう！



広報・情報委員長 水野 泰雄君

日本の公式機関誌「ロータリーの友」は1953年(昭和28年)1月に創刊されました。創刊当初は3300部、66年後の今年の9月号で通巻801号になっています。「ロータリーの友」の名前は、1952年8月岐阜市の長良川河畔にあった大竹旅館での会合において、岐阜クラブの遠藤健三氏による名称が採用されましたが、その由来は当時の女性雑誌「主婦の友」にあやかって命名されたと言われていたのですが「ビールの友」からきているという説もあるそうです(宇部RC様より引用)。

「ロータリーの友」は今から66年前の1952年に当時日本のロータリーが1地区から2地区、第60地区と第61地区に分割された際に両地区の将来的な交流を図るために創刊しました。しかし創刊に至るまでは大変な議論があったようで西の61地区は謄写版刷りの簡単なものでいいから早く発刊をという主張(大阪案)を提出し、東の第60地区は謄写版では手軽すぎて耐久性がないし初めからある程度きちんとしたものという主張(東京案)を提出し、東西合同会議が開かれ東京案と大阪案を各クラブに提示してアンケートまでとったそうです。東京案は発行所を東京とし定価100円でひらがな使用、組み方は縦・横両論。大阪案は発行所が大阪で謄写版印刷、定価20円カタカナ使用で横組。結局アンケートの結果を総合勘案して発行所は東京、定価50円、活版印刷ひらがな横組みとなったが原価計算では100円になるというものが採用されたそうです。

その差を埋めるのに大変な苦勞があったようです。創刊号以後定価50円、1954年1月号から1962年まで定価100円、1963年1月号から1974年まで定価110円、1975年1月号から現在に至るまで、定価200円。創刊から現在まで66年間ですが、そのうちの後半40年間も値上はありませんがいつまで持つか心配だそうです。この間の1979年7月号から1年間の試行期間を経て1980年7月号からRI公式地域雑誌(現、ロータリー地域雑誌)に指定されました。また、2013年規定審議会でロータリー地域雑誌に関して、会員は印刷媒体か電子媒体のいずれかを選択して購読することができるようになりました。それを受けて、ロータリーの友事務所では、電子版の『友』を2014年1月号から発行しています。

現在「The Rotarian」を含め32の地域雑誌を総評してRotary Global Media Networkと呼ばれています。ロータリアンは「ロータリーの友」または「The Rotarian」を購読する義務があることが特に重要です。また、記事には横組みに縦組みがあり、横組みの最重要記事としてRI指定記事があります。これはロータリー地域雑誌の義務の一つに「The Rotarian」記事から指定された記事を、翻訳して転載しなければならないというものがあります。(世界のロータリー雑誌16~17P参照)

ロータリーの友の購読は、ロータリアンの三大義務である「例会の出席」「会費の納入」「ロータリー雑誌の購読」の1つであります。会員としての義務規定の多くは、ロータリー活動に全面的に参加し、その体験を楽しむことを目的に定められています。私たちがロータリーから何を求めるのかはロータリーで何をしたかにかかっているかと思います。幅広い奉仕をするために近郊のクラブや2600地区のことばかりではなく、世界中のクラブやロータリアンのことを知らなければなりません。しかし、世界の各地



クラブテーマ「ロータリアンであることに魅力を感じよう!!そして、更に魅力ある六文銭ロータリークラブへ」



に出かけて多くのロータリアンに会い色々な活動を見ることはそう簡単にできることではありません。ロータリーの友などの雑誌から情報を入手して、それを実際の活動に活かして欲しいと思います。

行っているそうです。いずれにしても、ローカルに活動する我々も、たまには世界に目を向けてみ事も大切なことです。

〇〇〇 会長挨拶

例会規定と世界の識字率



会長 宮澤 広一君

ロータリーの新年度になって2ヶ月が過ぎ、9月になりました。いまだに会長職には慣れないのですが、頑張っていこうと思います。

さて、今日は「ロータリーの基礎」から例会についてお話ししたいと思います。(資料にもつき説明)

先ほどご紹介した、ロータリーの特別行事にあるように今月(9月)基本的教育と識字率向上月間となっています。識字率について調べてみました。識字率の世界ランキングで日本は何位ぐらいだと思いますか? 3位以内? 5位以内? 10位以内? 20位以内? これだけ教育制度が整っている国は少ないのでかなりの上位だと想像する方が多いと思います。正解は、ある統計によるとアメリカ、スイス、ドイツなどと並んで28位だそうです。識字率は99%。いまだに100人に1人は字が読めない人がいるということです。

ちなみに1位は、リヒテンシュタイン、北朝鮮、ノルウェー、バチカン市国、フィンランド、ルクセンブルグ、アンドラ、グリーンランドなど識字率は100%。参考までに最下位は217位で識字率27%の南スーダンだそうです。

それから世界平均は、85.9%だそうです。世界で考えると100人中約14人は字が読めない。南スーダンに至っては、字が読める人が10人中3人いないということになります。日本に住んでいると既に識字率という言葉さえ死語に近くなっていますが、世界に目を向けるといまだに字が読めない人が沢山いるということです。この識字率を向上させるために私たちに何が出来るか? という、具体的には思いつきません。南スーダンに行って字を教えることも出来ません。が、自分や近所の子供に読み書きを教えることも大切なことかもしれません。それから、ロータリー財団に寄付をして、世界の識字率向上のために役立ててもらうことも一つの方法かもしれません。

ちなみに国際ロータリーでは、識字率向上のために必要な人材(教育者)の育成のためのプログラムを

〇〇〇 幹事報告

直前会長

水野 泰雄君

1. RI より ・ the rotarian 9月号
・ 財団室ニュース 9月号
2. 米山奨学会より ・ 館報 秋号
3. AMU 様より ・ 野外交交流会のご案内
4. (株)タツノ様より ・ プリンタのご案内

全会員配布物

1. 当クラブ会報 1034号
2. ロータリーの友 9月号
3. 月信 9月号

〇〇〇 出席・ニコニコBOX報告

湯原 剛君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	26	3	0	88.46%
前々回	22	3	2	95.45%

湯原 剛君 9月になりました。今度家族で旅行に行きたいと思うのですが、いいところあったら教えてください。

清水一典君 来週社員研修旅行で旭川に行ってきます。旭川を楽しんでください。

肥田野秀知君	笠原 一洋君	柄澤 堯君
小嶋 修一君	松澤 一志君	宮原 宏一君
宮澤 広一君	水野 泰雄君	中澤 信敏君
西澤 尚夫君	西澤 文登君	斉藤恵理子君
杉山 裕君	田中 栄一君	山田 豊君
横沢 正君	吉田 穰君	飯島 伴典君
合原 亮一君		

〇〇〇 例会日報

- 司 会 渡邊 章貴君
- 開会点鐘 宮澤 広一君
- 斉 唱 国歌 奉仕の理想
- 慶 祝 誕生日祝

西澤 文登君(15日) 湯原 剛君(17日)

小嶋 修一君(20日) 山田 豊君(23日)

- 委員会報告

会員増強委員長 杉山 裕君

新会員候補者承認のこと